予算に 反対 賛成

指導監督室には発注者としての責任ある答弁を望むなど指摘し反対討論とする。

反対　矢山　武

H23年度は企業会計で40億円の借金があり、一般会計の負担が重くなる。7つの重点事業は暮らしを守る方向にない。農業は家族農業を大切にする施策と、福祉の充実により、年金暮らしの人が安心して暮せるまちづくりが必要。公共下水道は処理能力をフル稼働させるため、早期に面整備を終えるべきだ。

賛成　徳光　義昭

H23年度から若者定住策として未来創造計画推進事業が始まり、新規就農者の確保と人口減の抑制を図る。子育て支援策として子育て家賃補助や保育料などの半額助成で負担の軽減を図る。全町農村公園化の実現に向け7つの「育」が展開され年間100人の人口減少に歯止めをかける。

先の東北関東大震災と放射能漏れによる安全安心が脅かされ、厳しい年である。今後も第2次行政改革を推進し、住民福祉向上に期待し賛成討論とする。

反対　安佐　長秀

今年新しく7つの重点事業が出されたが、この中には、一生懸命に頑張っている、地域の商業者への政策がない。また、町民目線で町政をと言いながら、寺町公園は費用ばかりで効果がない。7つの事業はできるのか、もう少し精査し住民の生活重視の声を町政にいただくために反対する。

賛成　永田　英則

山口町長の第2ステージとして、7つの重点事業が明確にされた。

町の農業を育てる未来創造計画事業など、新規事業は町の将来を担う人材確保を強く意識され評価したい。また、企業誘致、雇用確保、福祉、教育に対する課題には、企業立地支援条例、小学校少人数指導推進事業など新規事業を設け、行政改革の成果を反映されている。将来に希望の持てる予算に賛成する。

反対　豊田　勲

公共下水道事業は、特定の地区に莫大な投資をしているが、合併浄化槽がはるかに経済的で財政的にも利点が多い。

学校統合には反対してきた。特に、過疎地の学校・保育所をなくすることは、さらに過疎に拍車をかけ暖かさに欠ける行政だ。バス通学には10年間に7億円の負担が増えるだけと指摘し反対討論とする。

賛成　福田　義人

新町合併後6年をかけ財政再建された町政の成果をH23年度予算に反映されたことを評価する。特に、定住対策と少子化対策。子育て支援では、保育料などの減額。教育の高水準化を目指す。

公共下水道は、定住を促進するうえで、連担地区のライフラインを確保する重要な事業である。産業の発展、雇用の確保に必要である。この地は、交通経済の重要地点である。この地域には下水道事業は必要不可欠。よって全予算に賛成する。

第1回臨時会　2月14日

H23年4月から課の一部新設と統合を行う機構改革条例他3議案が提案された。

窓口体制は、子育て支援課を新設し、若者定住を促進する。税務課と町民課を統合する。課の統合は、性質の違う業務の統合で事務効率が悪いと異論があった。

甲山自治センターの指定管理では、残る宇津戸自治センターへの対応や全13自治センターの均衡ある指導と育成を求めた。

国の経済対策に伴う地域活性化交付金事業で、約2億円が交付されるのを受けて、小国バイパス水道施設、庁舎玄関前のバリアフリー、デマンド交通予約システムの更新などを行う。

第1回定例会

H23年第1回定例会を3月7日から25日までの19日間で開会した。

H22年度の最終補正予算とH23年度予算。その関連する条例など審議した。（予算関連は予算委員会報告による。）

H22年度の一般会計補正は、今回で14回目となる。年度中途での事業の見直し修正もあるが、年度後半になってから補助事業が確定し、新たな交付金事業の配分があった。また、7月豪雨の復旧など大規模災害の工事は年度内に完了できないものもあり、4億6千万余を繰越す。

町道変更・廃止に伴う現地調査

町道の変更と廃止

改良工事が行われていた国道432号や県道が一様に完成。また圃場整備の完了などで町道14路線の一部変更と、1路線の廃止をした。

条例の改廃

○H18年の健康保険法の改正で老人保健制度が廃止され、3年の猶予期間が、満了するため廃止した。

○社会教育委員を17人から8人に改める。

委員は、学校2人・スポーツ文化2人・家庭教育2人・学識経験者は男女各1人とする。

○一定条件を満たし、町内に工場などを新設した場合、設置奨励金を交付し、産業振興と雇用機会の増大をめざし、企業立地支援条例を制定（H28年度まで）

○小学校統合に伴い、学校施設ごとに定めていた使用条例を統一した。またスポーツ施設設置条例の一部改正により体育関係施設を社会体育施設に変更した。

○その他、農道・農地などの建設工事で受益者負担が必要な負担金割合を決定した。

人事

任期満了となる人権擁護委員に

森政真知子さん（大字黒川）

を推薦することとした。

皆さんからの陳情と請願 このように決めました

■採択となったもの

◎町道（国久線）未改良部分の早期完成

国久地区振興区代表 水谷俊郎 他14名

（賛成全員）

義援金300万円を可決

東日本を襲った未曾有の大震災により、被害に遭われた皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

復興に向け懸命に戦っている皆様に、町は3月25日に急遽計上された義援金300万円の予算を可決しました。

また、町内の皆様の善意で寄せられた義援金は、3月31日までに314件460万6，317円が集まりました。

この2つの義援金は、全国町村会を通じて被災地の皆様にお届けします。

むやみな自粛ムードは避け、まず身近に出来ることで応援しつつ、私たち日本人の心をひとつにして、支援の和を広げましょう。

議長　奥田正和